

令和7年度
加曽利貝塚博物館特別研究講座

縄文人 と 丸木舟

加曽利貝塚にはあったか？

縄文時代の丸木舟とされるものは全国で220例以上知られているが、その6割が千葉県域で出土している。そして近年、市川市雷下遺跡で縄文時代最古（早期）の丸木舟が出土したほか、九十九里平野の栗山川・高谷川低地においてまとまって出土している。

今後、加曽利貝塚に隣接する坂月川流域の調査を進め、加曽利貝塚における丸木舟の水上交通利用の痕跡を探索し、その実態を解明していくこととなるが、本講座では、それに先立ち、遠距離交通にかぎらない暮らしの中の丸木舟利用も視野に入れ、これまでの考古学的成果を見直すことでその基礎としたい。

令和7年
11月23日 日
10時00分～16時00分

参加
無料

会場 千葉市生涯学習センター ホール
(千葉市中央区弁天3-7-7)

定員 300名 当日先着順



会場までの
アクセス

タイムスケジュール

10:00～10:30	開催挨拶・趣旨説明	
10:30～11:30	「房総半島の丸木舟と都川流域の舟利用」	蜂屋 孝之氏〔(公財)千葉県教育振興財団〕
11:40～12:10	「動物遺体からみた海洋資源獲得と丸木舟利用の可能性」	樋泉 岳二氏〔早稲田大学〕
13:10～14:10	「北日本の民俗調査からみた丸木舟の製作工程と使用法」	根岸 洋氏〔東京大学大学院人文社会系研究科〕
14:25～15:25	「大宮台地周縁の丸木舟」	近江 哲氏〔東松山市教育委員会〕
15:40～16:00	質疑応答	

受講の皆さまへ
おねがい

・配布資料、講演中の画像等を許可無く複製・転載・撮影をすることはご遠慮ください。・配布資料は当日講座参加者のみとなります。
・配付資料、講演中の画像等をインターネットへアップロードしないでください。

お問合せ

千葉市立加曽利貝塚博物館

TEL043-231-0129 X (旧 Twitter) @kasori_jomon

加曽利貝塚博物館



講座の詳細についてはホームページをご確認ください

